

国公労連2011年要求アンケート

全員参加で要求を組織しよう

— 職場の要求を総点検し、不安・不満を払拭する運動を —

本アンケートは、国公労働者の要求と意識を一体的に把握し、2011年春闘期に向けた要求確立や今後の運動に活用することを目的に実施するものです。
組合員の皆さんの積極的なご協力をお願いします。

1 大きな変化の中で職場からの要求組織を

政府は、公務員の人件費2割削減の公約とも関わって、「地域主権改革」のなかで国の出先機関の原則廃止を打ちだしています。また、公務員制度改革も加速し次期通常国会に関連法案を提出し、労働基本権を付与した上で人件費を削減していく考えを示しています。度重なる定員削減や新規採用の抑制により定員状況が厳しくなる中で、メンタル疾病にかかる人も年々増えています。

加えて、人事院は、定年年齢の延長など高齢期雇用に関わる意見の申出を年内に予定していますが、それに先行して高齢期職員の賃金削減をねらう賃下げ勧告を行いました。

このように私闘段階から春闘にかけて、これらの課題が複雑に絡み合いながら大きく動き出すようとしています。

2 職場からのたたかいで要求の前進を

こうした課題の改善には、国民の理解と共同が不可欠ですが、なにより私たち一人ひとりの切実な要求に基づく主体的なとりくみが必要です。その出発点として、すべての組合員が、要求を出し合い話し合いで職場要求を作る運動に取り組みます。

その上で、自らの要求と労働者・国民の要求実現を結合させ、民間労働者はもとより地域の住民と共同した取り組みを積み上げていくことが重要です。そうしたとりくみを通じて公務員の総人件費削減攻撃を跳ね返し、国民生活の基盤を支える公務サービス維持・充実を一体として求めていくことが大切です。

3 要求組織にあたって職場討議を

以上のような情勢もふまえ、アンケートの記入にあたっては、公務員労働者をめぐる状況や要求の到達点などについて、認識を深める職場集会などを実施して取り組むこととします。

【記入にあたっての留意事項】

- ① 記入方法は、各問の該当する回答番号に○をつけ、その番号をアンケート回答票の「回答欄」に記入してください。
- ② 「自由意見欄」は、組合に対する要望や期待など自由にお書きください。記入された意見、要望については職場の要求討議などにかいてください。
- ③ アンケート記入に取り組む時期、集約時期、集約方法などについては、単組からの指示にしたがってください。

【基本項目】

F1 性別	① 男	② 女								
F2 年齢	① 19歳以下	② 20～24歳	③ 25～29歳	④ 30～34歳	⑤ 35～39歳	⑥ 40～44歳	⑦ 45～49歳	⑧ 50～54歳	⑨ 55～59歳	⑩ 60歳以上
F3 世帯の収入構造	① 1人（独身）	② 1人（扶養者あり）	③ 共働き（一方がパート）	④ 共働き（双方ともフルタイム）	⑤ 3人以上の収入	⑥ その他				

【設問項目】

Q1 最近の職場状況について、あなたが気に掛かるものを「2つ」選んでください。

- ① 業務量が増え、残業が増えている
- ② 休暇が取りにくくなっている
- ③ 若い人が減り、技術や知識の継承に不安がある
- ④ 業務委託などが増え、行政サービスの質が低下している
- ⑤ 窓口など業務上でのトラブルが増えている
- ⑥ 職場の仲間とのコミュニケーションがとりにくくなっている
- ⑦ 国民からのプレッシャーが強まっている
- ⑧ セクハラ・パワハラが増えている
- ⑨ メンタル疾患などの長期病休者が増えている

Q2 あなたの実感では、次のうちどれに該当しますか。もっとも近いものを選んでください。

- ① かなり苦しい
- ② やや苦しい
- ③ まままだ
- ④ ややゆとりがある
- ⑤ かなりゆとりがある

Q3 昨年と比べた世帯総収入と家計の状況についてうかがいます。

- ① 収入が減り、支出の大幅切りつめや貯蓄取り崩しをしている
- ② 収入が減り、支出の節約や貯蓄に回す分を減らしている
- ③ 今のところ収入は減っていないが、今後の生活に不安を感じている
- ④ 収入は減っていないし、とりあえず心配していない

Q4 あなたは2011年春闘で、月額いくらの賃上げを要求しますか。

- ① 現状維持（これ以上の賃下げを許さない）
- ② 5千円未満
- ③ 5千円
- ④ 1万円
- ⑤ 2万円
- ⑥ 3万円
- ⑦ 4万円
- ⑧ 5万円
- ⑨ 6万円以上

回答票

基本項目

F1	
F2	
F3	

設問項目

Q1		
Q2		
Q3		
Q4		

